

はじめに

この度は「日産車 純正デッキ外部入力コントロールユニット AIC-210」をご購入いただき誠にありがとうございます。本紙を良くお読みになり、正しくお取り扱い下さいますようお願いいたします。

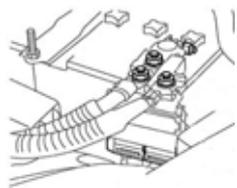
免責条項

車両内装(インストルメントパネル)や純正デッキの脱着は、すべて本品購入者ご本人様による作業となります。  
(車両内装部分の脱着に関するお問い合わせは一切お受けできません。)  
装着の際や装着後に発生した車両の損傷やトラブル(損害)は、如何なる場合も責任を負いません。  
本品には外部カーオーディオ機器をコントロールする機能はありません。  
本品の保証期間は設定していません。  
本紙に記載してある内容が装着する車種と異なる場合があります。また本品の仕様変更により本紙の記載内容と一致しない場合がありますが、基本性能は変わりません。

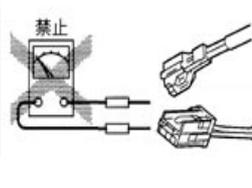
特徴

本品は日産車純正デッキと通信し、外部機器から入力される音声信号を任意にオン・オフすることができます。独自に新開発した AFC 機能(Auto-Feedback-Control-Unit)を搭載することで、従来品にある外部入力 ON スイッチを OFF にすると純正デッキの電源が強制的に落ちてしまう不具合や CD・ラジオなどにモードを切り替える際の煩わしいスイッチ操作などの問題をすべて解決していますので、後付けの外部カーオーディオ機器があたかも元々純正で装着されていたかのような自然でシームレスな操作感が得られます。  
またこの AFC 機能により、キースイッチを OFF にする直前に選択されていた状態(モード)を記憶し、エンジン再スタート時にはその記憶した状態(モード)から再生を開始することが可能となりました。  
また外部カーオーディオ機器の音声信号の入力には一般的な RCA ピン端子(メス)を用いていますので、様々な外部機器を接続することができます。  
純正デッキに一切ダメージを与えないセーフティ回路を装備しており、安全性にも配慮しています。  
耐ノイズ性に優れたロジック回路を採用していますので、ノイズの多い環境下でも安定動作が可能です。  
電子パーツはすべて信頼性の高い日本製を使用しており品質面も万全です。

(警告) 必ずお守り下さい!



配線 取付け作業をする前に、SRS エアバック、プリテンショナーシートベルトなどの関連センサーユニット内の補助電源装置に蓄積された電気を完全に放電する必要があります(乗員保護装置の誤作動防止のため)。放電方法は、キースイッチを OFF にし、バッテリー端子を外して、5分以上放置すれば完了します。



本品のプラグやコネクタの端子部分にテスターや検電棒などを接触させると、内部回路に純正デッキと異なる電圧(電流)信号が流れ、回路が焼損しますので絶対にお止め下さい。また無理に分解すると内部回路が断線し使用不能となりますのでご注意ください。

取付け接続図

キット内容 : AIC-210 … 1 個 外部入力 AUX オンスイッチ … 1 個

(配線上の注意)

常時電源(赤)は、必ずキースイッチを OFF にしても DC12V が常に供給される車両ハーネスへ接続してください。アクセサリ電源やシガーライター電源に接続すると AFC 機能が正常に作動しません。

常時電源(赤)とボディアース(黒)は走行中の振動などで接触不良がおきないように確実に配線をしてください。

逆接続厳禁! 本品が焼損します!

取付け穴寸法: 直径 12mm

穴開けの際はケガのないよう十分注意して作業してください。

純正デッキ



(注意) デッキを取り外した際は製造メカ-と型式(モデル No.)を確認し、必ず下記欄に記載しておいてください。

製造メーカー :  
型式(モデル No.) :

常時電源へ  
ボディアースへ

白コネクタ

AIC-210  
コントロールユニット

外部入力 ON スイッチ

DIN-8p プラグ

ヒューズ Max=0.5A

RCA オスピン

外部カーオーディオ機器

- ・後付けナビのテレビ音声
- ・HDDナビのミュージックサーバー音声
- ・DVDプレーヤー、Video デッキ音声
- ・iPodなどのMP3 プレーヤー音声
- ・その他、RCAケーブルで出力可能な機器

(注意) RCA オスピンの抜き挿しは、必ずデッキの電源を落としてから行ってください。また RCA ケーブルが短い場合は、別途、延長ケーブルをご用意ください。(延長ケーブルは付属しません)

(配線・取付け手順)

バッテリーのターミナルを外して5分間待つ  
インストルメントパネルおよびデッキを取り外す  
デッキの製造メーカー(松下・クラリオン・その他)と、型式(モデル No.)を確認しメモする  
AIC-210の[常時電源]と[ボディアース]を結線  
純正デッキ裏面の外部入力コネクタ(写真赤丸部分)に DIN-8p プラグを接続

[外部入力 ON スイッチ]を運転の支障にならない場所へ取り付け、[白コネクタ]を接続  
外部カーオーディオ機器の左右音声出力(RCA オスピン)を接続  
バッテリーのターミナルを接続

AIC-210の接続状態と作動確認を行う (確認の要領は下表を参照して下さい)  
作動確認が終了したらデッキとインストルメントパネルを元の状態に戻す (取付け完了)

接続状態と作動確認の要領

キースイッチを ACC または ON にする (バッテリー上りに注意してください)  
純正デッキの電源を入れる  
AIC-210の[外部入力 ON スイッチ]を押して純正デッキの表示が [AUX] に切り替わることを確認  
もし AUX モードへ切り替わらない場合は、下記の「よくある質問」の項を参考に、取付け施工状態を確認してください。  
外部カーオーディオ機器の起動し、音声は純正デッキ経由でスピーカーから出力することを確認  
(注意) このとき「スピーカーから左音声」が、また「右スピーカーから右音声」が出力されることを必ず確認して下さい。  
車種によっては左右逆になる場合がありますが、その際は RCA オスピンを左右逆に接続して対応します。

[外部入力 ON スイッチ]と純正デッキの各モードスイッチ[DISC(または CD)・TAPE・FM・AM・交通情報などの各スイッチ]とを交互に押し、外部入力(AUX)と各モードが交互に切り替わることを確認  
ステアリングスイッチに[MODE]ボタンがある場合は、[MODE]ボタンを押すごとにデッキの表示が DISC(または CD) AUX TAPE(または MD) FM AM DISC AUX …と順次遷移することを確認  
(注意) 車種によっては CD やテープがデッキに挿入されていない、その MODE に切替らない場合がありますので、作動確認の際は必ず CD やカセットテープを挿入してから行って下さい。また車種によっては遷移の順番や MODE ボタンの機能が上記と異なる場合がありますので、それぞれの車種の仕様に従って下さい。

よくある質問

- Q: AUX モードへ切り替わらない、または AUX モードから抜け出せない。  
A: 電源コードは正しく接続していますか? 特にボディアースの接続不良が多く報告されています。また配線施工時にエレクトロタップを使用すると接触不良を起こす可能性が高いようです。ヒューズが切れていないかも確認して下さい。
- Q: 希に AUX モードが解除される時がある。  
A: 取付け後は AFC 機能をアクティブにするに十分な充電がされていないため、希にこの現象が出ますが、数日間お使いいただき何度か充電を繰り返すことで作動が安定してきます。  
また本品は電源電圧 DC12.0V 以上で正常に作動するよう設計してあります。したがって、蓄電能力が低下したバッテリーを装着した車両や発電系統に異常のある車両、また瞬間的にエンジン回転数が落ちるような車両へ取付けた場合、電源電圧の低下が原因でこの現象が発生する場合があります。
- Q: 常時電源へ接続しているがバッテリー上がり心配  
A: AIC-210 内部の制御回路は超低消費電力設計ですのでバッテリー上がりなどの心配は一切無用です。

- Q: RCA (音声入力) ケーブルを抜き差しすると AUX が解除される。(またはデッキの電源が落ちる)  
A: RCA ピンジャック経由で純正デッキの AUX ラインへ規定値以上のノイズや電圧が印加され、デッキの安全回路が作動することで発生する現象です。特に iPod の音声を Dock コネクタを介して外部入力している場合にこの現象が報告されています。RCA ピンを抜き差しする場合は、安全のために必ずデッキ電源を落とした状態で行って下さい。
- Q: 外部機器の音声は左右逆に聞こえる。  
A: お使いの車種とデッキの基本仕様に合わせて製作していますが、純正デッキの製造時期や仕様変更などによって、音声入力が左右逆になっている場合があります。この場合は RCA ピンジャックを左右逆に接続して対応します。
- Q: 常時電源へ接続せずに ACC (アクセサリ電源) へ接続しても正常に作動するのか?  
A: ACC 電源へ接続しても構いませんが、モード記憶機能が働かずエンジン再スタート時にどのモードから再生していいのかわからなくなり、本品の性能をフルに発揮させるために常時電源へ接続する事をお勧めします。